



2026.9 No.221

いちばんぼし

日付	2026年 9,10月 プラネタリウム投映・イベント
9月6日(日)	投映日 (11:00~)
12日(土)	投映日 (11:00~)
19日(土)	鴻巣駅前天体観望会 (18:30~20:30)
20日(日)	投映日 (11:00~)
26日(土)	投映日 (11:00~)いちばんぼし会員による特別投映日
10月4日(日)	投映日 (11:00~)
10日(土)	投映日 (11:00~)
17日(土)	鴻巣駅前天体観望会 (18:30~20:30)
18日(日)	投映日 (11:00~)
24日(土)	投映日 (11:00~)いちばんぼし会員による特別投映日

<プラネタリウム投映>

- 2026年 9月
 - ・スライド番組:「怪物テュホーン」
 - やぎ座、うお座にまつわるお話です。
- 2026年 10月
 - ・スライド番組:「大わしにさらわれた美少年」
 - みずがめ座にまつわるお話です。

鴻巣児童センター主催

天文教室

■時間:2026年 11月21日(土)
午後7時00分 ~ 午後9時00分

■場所:鴻巣児童センター
(2Fプラネタリウム室、天文台、観測室)

■テーマ:環が復活した土星
昨年は土星の象徴である環が棒のようになってしましたが、今年は細い環が見えるようになりました。
また、「湿りの海」を中心に月面観察も行います。

※.晴れない場合は、プラネタリウムを使いテーマに沿った講演を行います。
開催についての最新情報は、
鴻巣市児童センターのHP 又は 鴻巣市のHPをご確認ください。

いちばんぼし主催

鴻巣駅前 天体観望会

■開催日時:
開催日、時刻は 9、10月 プラネタリウム投映・イベント
をご参照下さい。 天候不順の場合は、翌日同時刻に順延
させていただきます。

■場所:鴻巣駅東口 エルミ鴻巣 ドコモショップ横

■内容:参加費は無料です。お気軽にご参加下さい。
詳細は <https://1banboshi.org> にてご確認ください。

この季節の星座

2026年9月、10月の夜空

日付

時刻

天文現象

【金星】

- 金星が、9月19日に-4.8等級 まであかくなります。
- 望遠鏡で観測するときは、日の入り後が観やすいです。
- 望遠鏡で太陽を絶対に観ないでね。**

【お月見】

- 日本のお月見は3回あります。15夜(中秋の名月),13夜(後の月),10夜(十日夜の月)です。……とりあえず、お月見しましょう。
- 以下、2026年の日付です。
- ・15夜は旧暦の8月15日の月(新暦では9月25日の月)。
- ・13夜は旧暦の9月13日の月(新暦では10月23日の月)。
- ・10夜は旧暦の10月10日の月(新暦では11月18日の月)。

【秋分／秋分の日】

- 秋分とは太陽が黄道上の秋分点(黄経180°)を通過する事をいいます。
- また、秋分が発生する日のことを「秋分の日」といい、昼と夜の長さがほぼ同じになります。

【月面X】

- ・10月18日の月面Xは8月に続き昼間に起きます。
- ・探すのはむずかしいかなア。
- ・**望遠鏡で太陽を絶対に観ないでね。**

【オリオン座流星群】

- ・10月22日は、オリオン座流星群の極大日です。
- ・極大時刻前に月が沈むため、観測の条件は比較的良好です。
- ・見頃は、10月21日の22時頃から翌22日の明け方までです。
- ・ピーク時には1時間あたり5～10個くらいの流星が観られると予想されています。

9月4日

16:51



下弦の月(last quarter)

11日

12:26



新月(new moon)

19日

5:43



上弦の月(first quarter)

10:29



金星が最大光度(-4.8等級)

23日

9:05



秋分(太陽の黄経が180°になる)

25日

-



中秋の名月(月の出16:42)

27日

1:49



満月(full moon/コーン・ムーン)
・コーンムーン(トウモロコシの収穫の季節)
・ハーベストムーン(秋分に近い満月)

10月3日

22:25



下弦の月(last quarter)

11日

0:50



新月(new moon)

12日

19:03



水星が東方最大離隔
(0.0等級、太陽から約25°離れる)

18日

14:30



月面Xが観られる。
14:30～15:30くらいに観られる。

19日

1:12



上弦の月(first quarter)

22日

3:00



オリオン座流星群の極大

23日

-



十三夜(後の月 - 月の出15:07)

26日

13:11

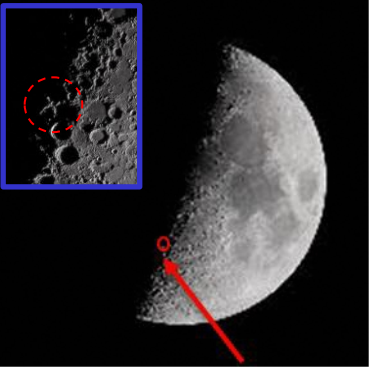


満月(full moon/ハンターズ・ムーン)
・ハンターズ・ムーン(そろそろ狩猟解禁の季節)

提供 国立天文台

👁️:肉眼でOK 🔭:望遠鏡・双眼鏡が必要

「ISS(国際宇宙ステーション)が見える時間、方角」
の情報は「いちばんぼしHP」をご覧ください。



月面Xはここら辺
提供 国立天文台

北

東

西

南

2026年9月中旬
午後9時頃 東京の星空
提供 国立天文台

制作:天文サークル いちばんぼし
<https://1banboshi.org>

